報道関係各位
プレスリリース

2024 年 10 月 1 日
株式会社 Liberaware

狭小空間点検ドローン「IBIS2」
韓国の製品認証マークである「KC マーク」の認証を取得

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役 関 弘圭、以下「当社」）は、自社で開発する狭小空間点検ドローン「IBIS2」が、韓国の製品認証マークである「KC マーク（Korea Certification Mark）」の認証を 9 月 30 日付で取得したことをお知らせします。今回の認証取得を契機に、韓国のインフラ・プラント市場にも当社のソリューションを展開し、ミッションである「誰もが安全な社会を作る」ことの実現に向けて邁進していきます。



当社は、これまで日本国内を中心とした営業活動を行っている中で、韓国においても無償での点検活動等で韓国企業との関係値を築いてまいりました。この度の「KC マーク」の認証を取得したことを契機に、韓国市場における販売・レンタル・点検等ドローン事業及びデジタルツイン事業を積極的に進めていきます。

韓国では社会インフラの老朽化が深刻化してきており、2032 年には全国のトンネル、橋、上下水道などインフラ設備の半分が老朽化の一つの基準とされる建設後 30 年に達すると言われています。そのような社会課題に対して当社は、同様の社会課題を抱える日本国内にて事業を行う中で培ったノウハウを活かし、「IBIS2」及び画像解析技術を用いた DX ソリューションを提供し、韓国市場における課題解決を図ります。

（参照：韓国国土交通部施設安全課 https://www.molit.go.kr/USR/NEWS/m_71/dtl.jsp?lcmspage=1&id=95089361）

■認証内容について

名称　　：KC マーク（Korea Certification Mark）

KC マーク概要　：KC マークは、韓国の国家統合認証マークです。国家標準基本法に「認証等を受けた製品にマークを表示するように法令に規定する場合、所管中央行政機関の長は国家統合認証マークを導入しなければならない」とあり（第 22 条の 4 国家統合認証マークの導入）、KC マークを国家統合認証マークとすると定められています（同法施行令別表 6）。対象製品は必ず安全性を確認し、KC マークを表示しなければなりません。

（引用：JETRO_HP https://www.jetro.go.jp/world/qa/04A-011119.html）

本件は当社の成長戦略に沿った海外への販路拡大の一環として位置づけており、今後も、インフラ・プラント現場の DX を進めるため、ドローンのみならず、ソフトウェアに係る DX ソリューションも広めるべく邁進してまいります。なお、本件による当社業績への影響は軽微です。

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）
代表者：閔弘圭（ミン・ホンキュ）
所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1
設立：2016 年 8 月 22 日
事業内容：・産業分野に特化した非 GPS 型小型ドローンの開発
・IoT 技術・人工知能を活用したシステム開発
・小型ドローン「IBIS」を活用した点検・測量ソリューションサービス
・小型ドローン「IBIS」の販売・レンタルサービス
・映像加工・編集サービス（距離計測、異常検知等）
URL：https://liberaware.co.jp/

〈本件に関するお問い合わせ先〉
株式会社 Liberaware　広報：向山
TEL：090-7195-4421 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com